

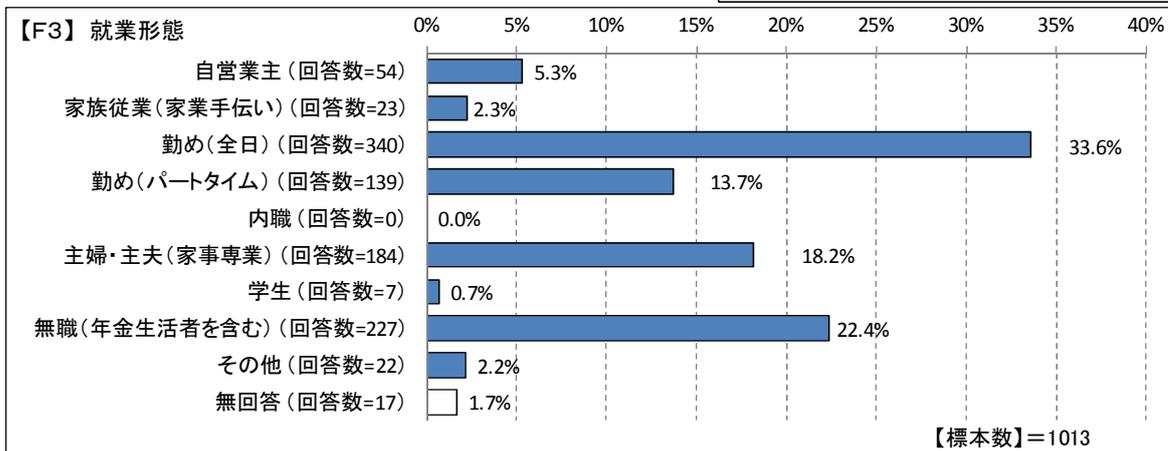
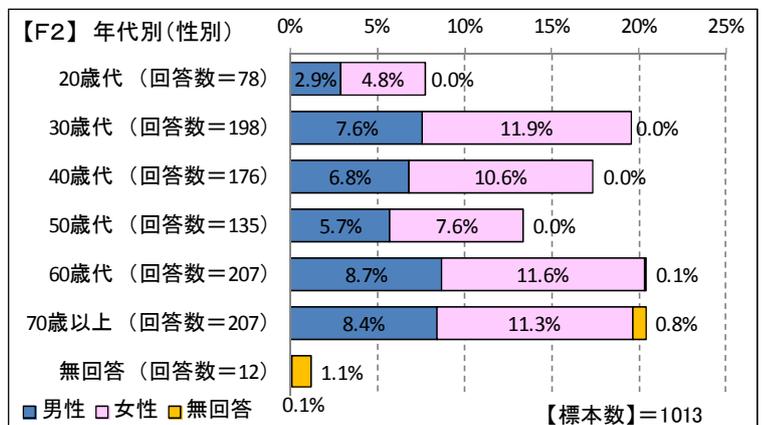
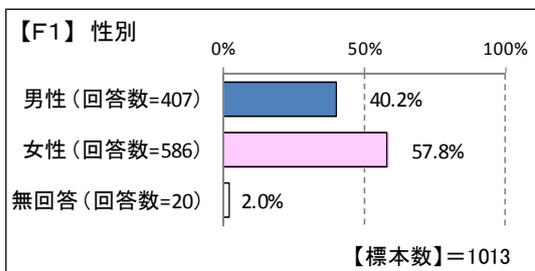
幸区区民アンケート調査 概要版

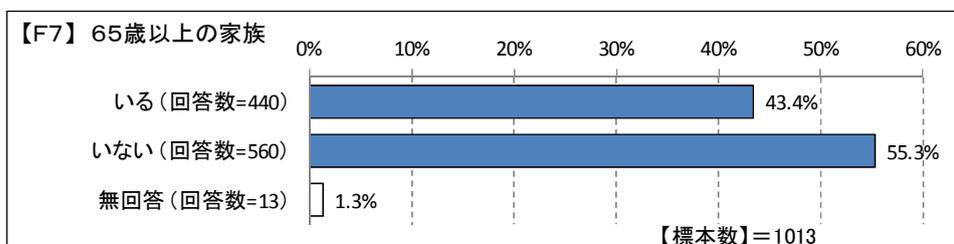
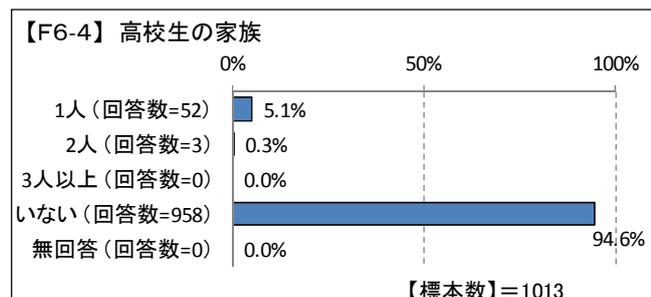
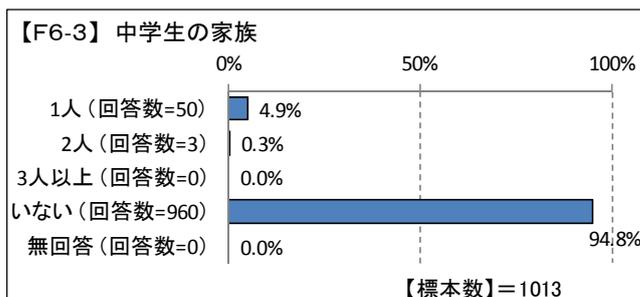
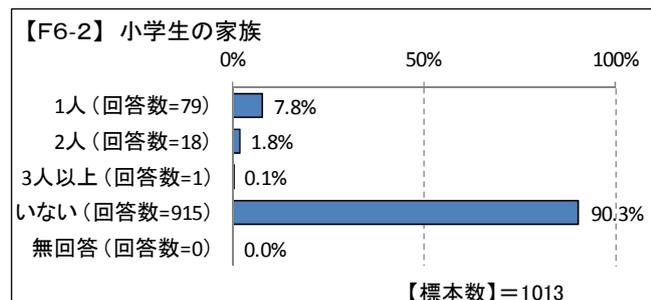
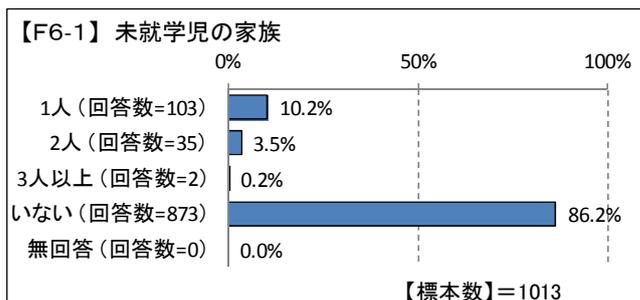
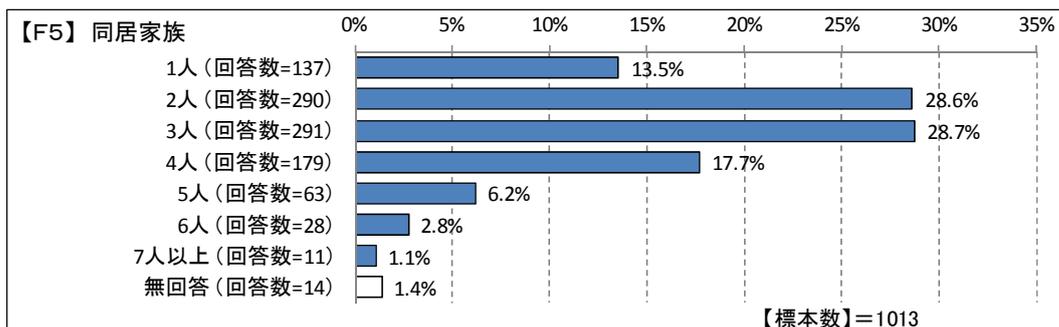
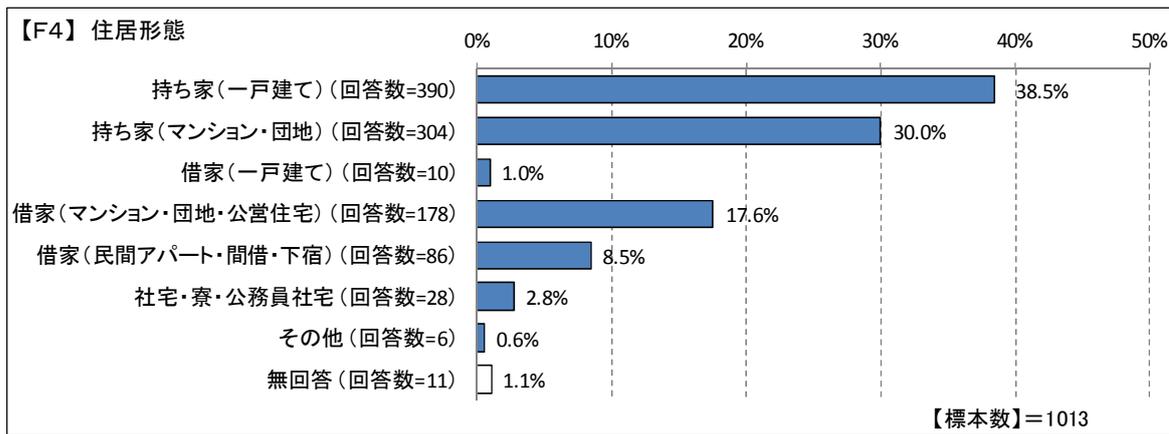
調査の概要

| | | | |
|-----------------|---------|--|-------------|
| 調査設計 | ● 調査対象 | 幸区在住の満20歳以上の男女(外国人を含む) | |
| | ● 標本数 | 2,000標本 | |
| | ● 抽出方法 | 住民基本台帳及び外国人登録原票(平成23年8月15日現在)に基づく 層化二段無作為抽出 | |
| | ● 調査方法 | 郵送配布-郵送回収 | |
| | ● 調査期間 | 平成23年10月7日(金)～平成23年10月31日(月) | |
| | ● 有効回収数 | 1,013 | |
| | ● 有効回収率 | 50.7% | |
| | 調査項目 | ① 幸区への愛着や住みやすさなどについて | ⑦ 高齢者支援について |
| ② 行政情報について | | ⑧ 子育て支援について | |
| ③ 区政への評価と要望について | | ⑨ 防災について | |
| ④ 幸区区民会議について | | ⑩ 節電とごみの分別について | |
| ⑤ 地域活動や課題について | | ⑪ 自転車のマナーについて | |
| ⑥ 町内会・自治会について | | ⑫ 区制40周年を迎えることについて | |

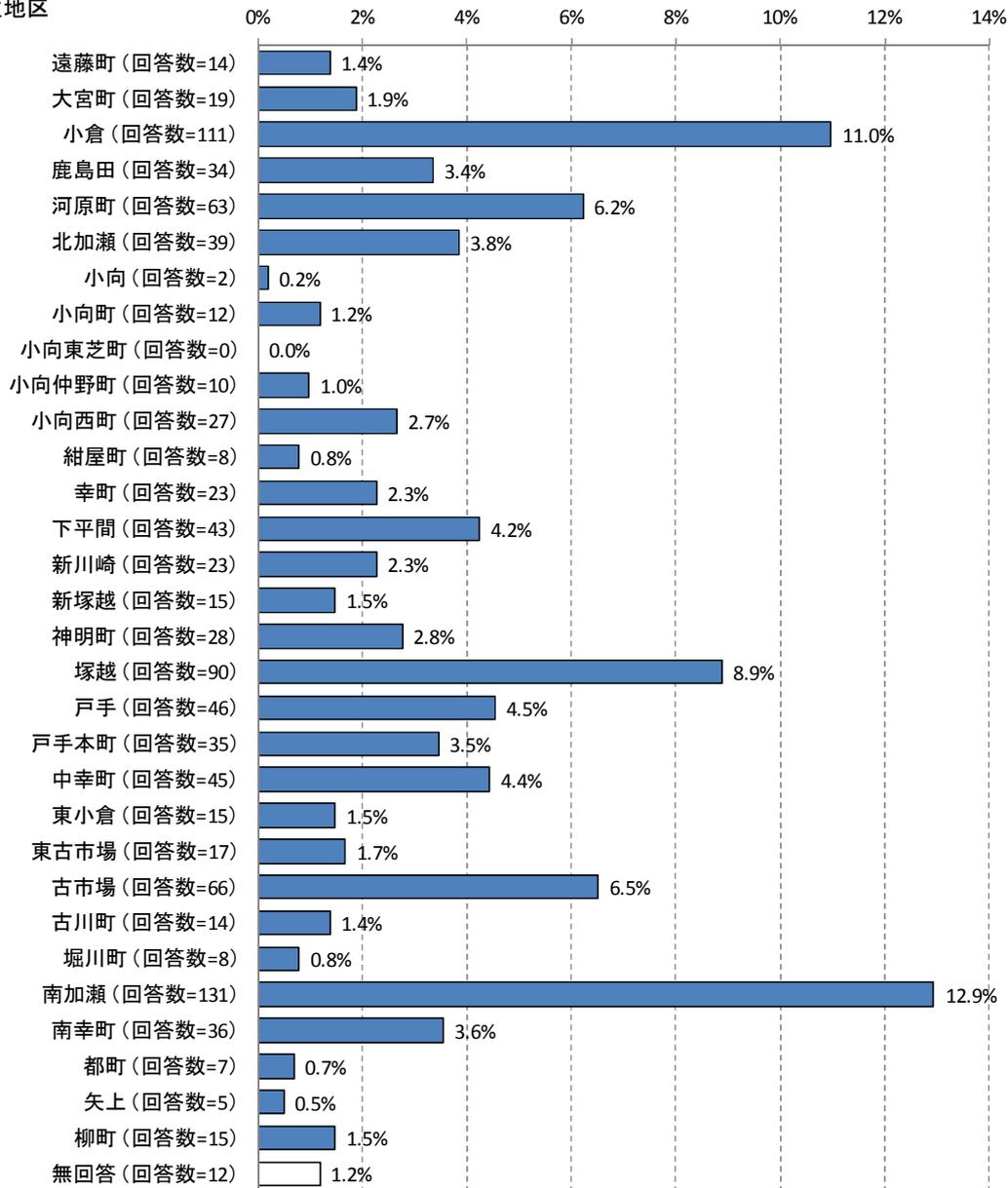
※ 本文中の「構成比(%)」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

調査回答者の属性



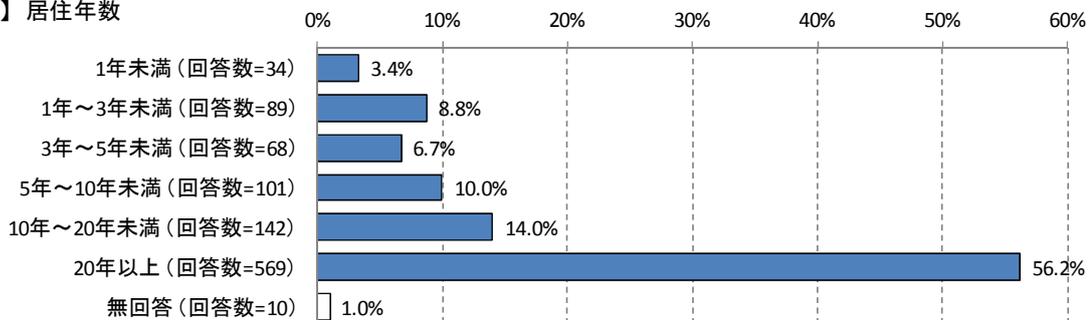


【F8】 居住地区



【標本数】=1013

【F9】 居住年数

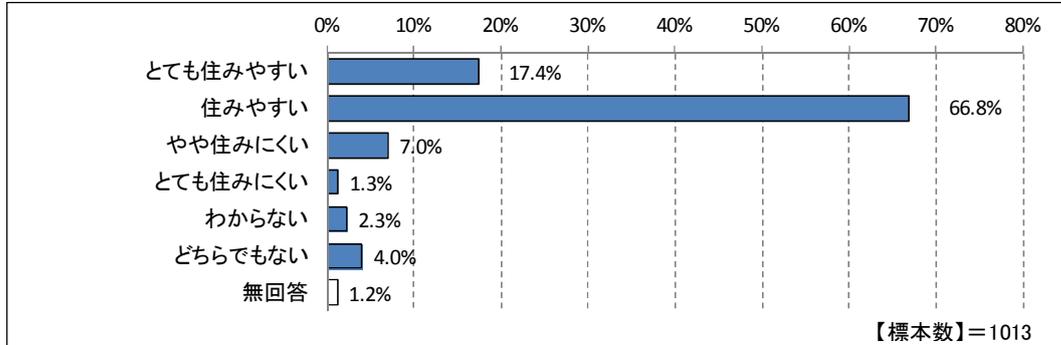


【標本数】=1013

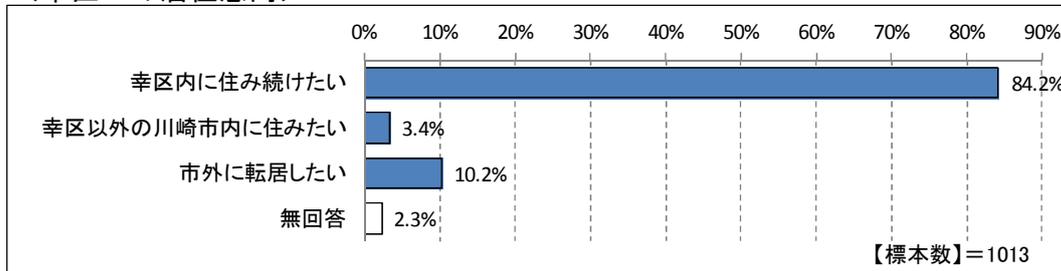
1. 幸区への愛着や住みやすさなどについて

幸区の住みやすさについては、「住みやすい」が66.8%、「とても住みやすい」が17.4%であり、合わせて84.2%の回答者が、住みやすい区であると感じており、また、今後も「幸区内に住み続けたい」とした回答者も同率の84.2%であり、どちらも8割を超えている。また、住み続けたい理由は、「交通の便がよいから」が75.8%、「買い物の便がよいから」が57.3%である。一方、住み続けたくない理由は、「その他」が27.0%、「自然や公園がないなど環境が悪いから」が26.3%、「交通の便が悪いから」が25.5%である。

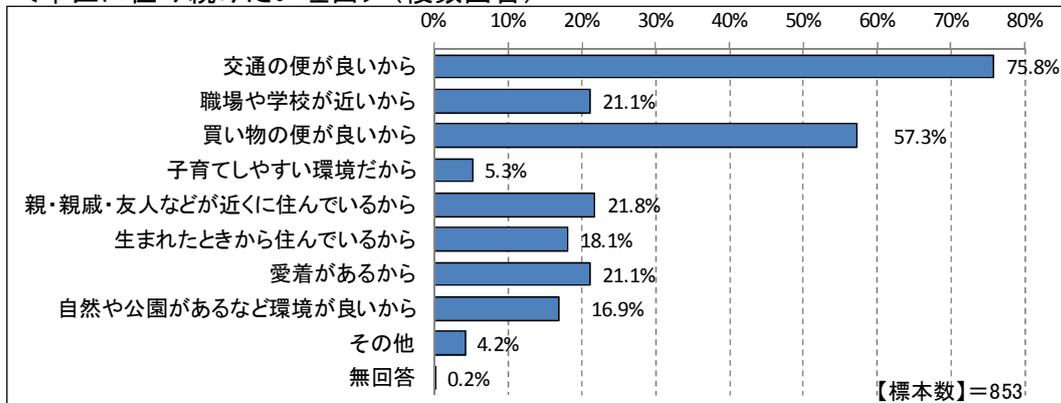
<幸区の住みやすさ>



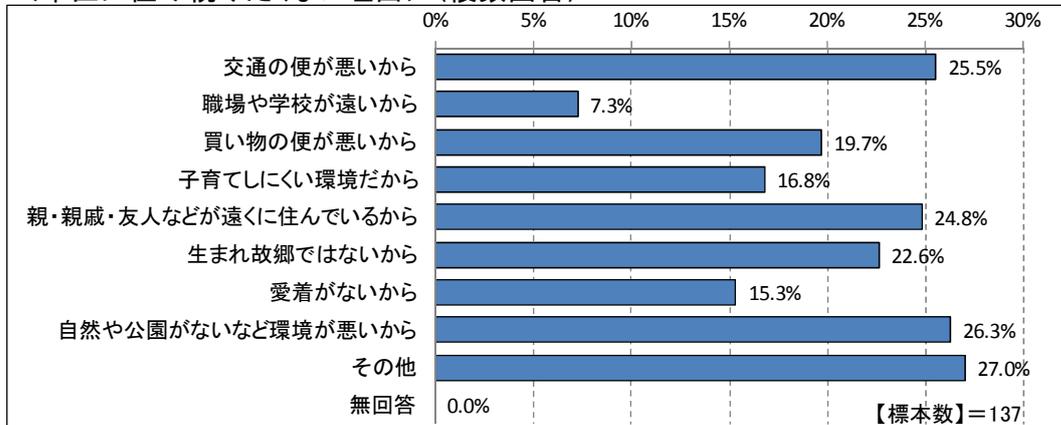
<幸区への居住意向>



<幸区に住み続けたい理由> (複数回答)

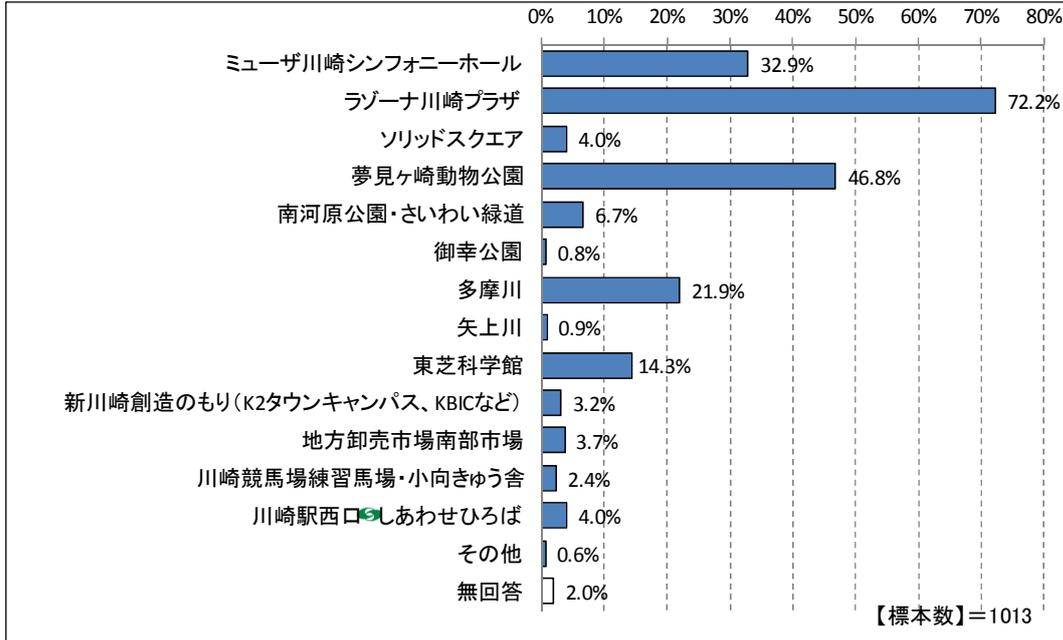


<幸区に住み続けたくない理由> (複数回答)



シンボルスポットとして紹介したい場所は、「ラゾーナ川崎プラザ」が72.2%と最も高く、次いで、「夢見ヶ崎動物公園」が46.8%、「ミュージア川崎シンフォニーホール」が32.9%、「多摩川」が21.9%である。

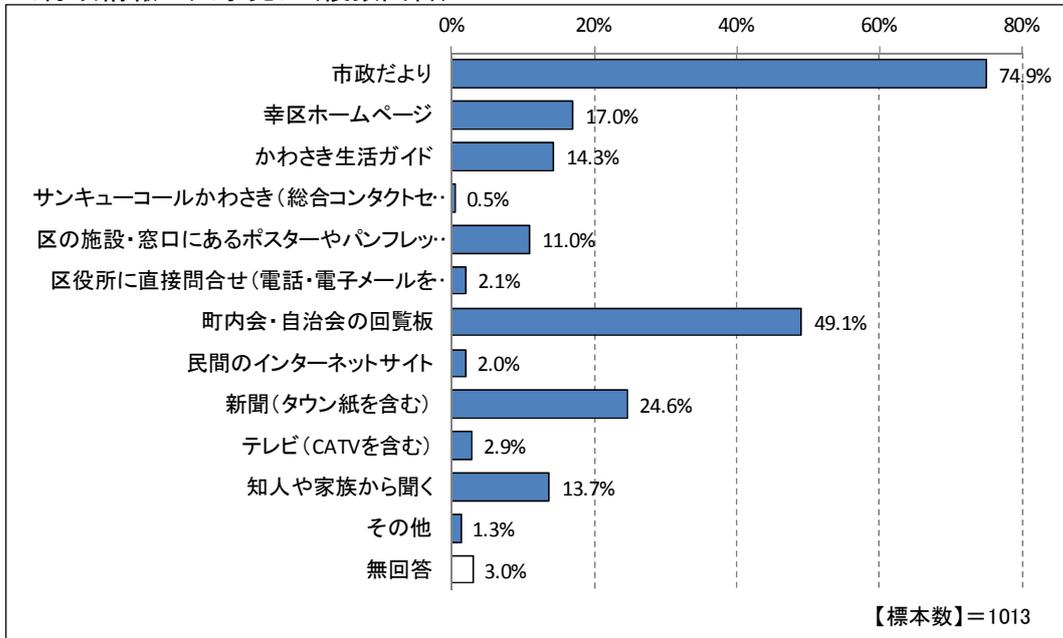
<シンボルスポットとして紹介したい場所> (複数回答)



2. 行政の情報について

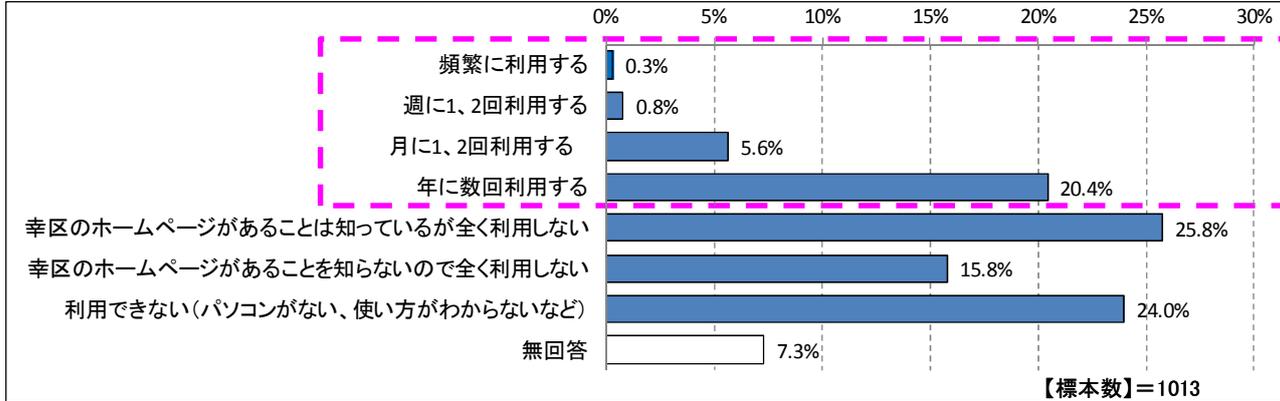
幸区などが提供する行政情報の入手先は、「市政だより」が74.9%と最も高く、「町内会・自治会の回覧板」が49.1%、「新聞(タウン誌を含む)」が24.6%である。

<行政情報の入手先> (複数回答)

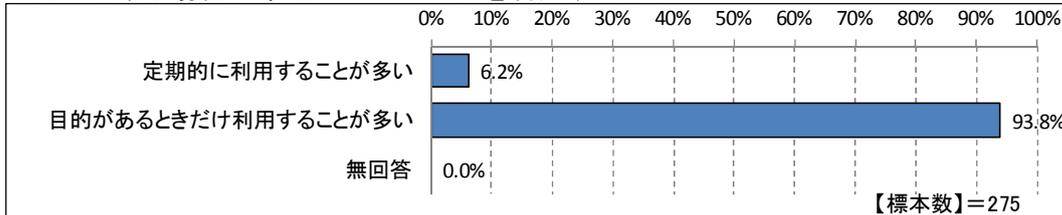


幸区のホームページの利用頻度は、「幸区のホームページがあることは知っているが全く利用しない」が25.8%と最も高く、次いで、「利用できない(パソコンがない、使い方がわからないなど)」が24.0%、「年に数回利用する」が20.4%である。区ホームページの利用目的は「目的があるときだけ利用することが多い」が93.8%である。

＜幸区ホームページ(携帯サイトを含む)の利用頻度＞



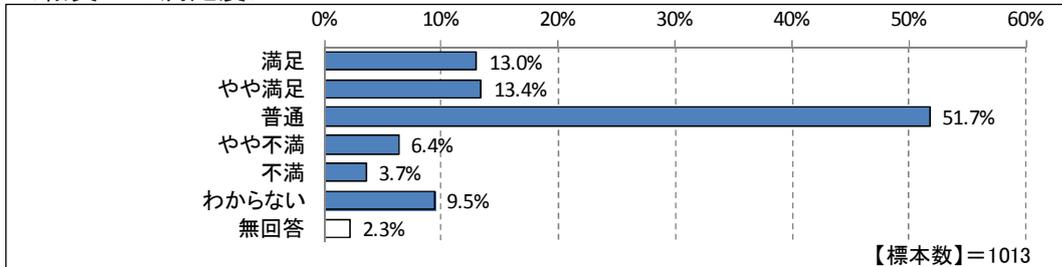
＜どのような場合に幸区ホームページを利用するか＞



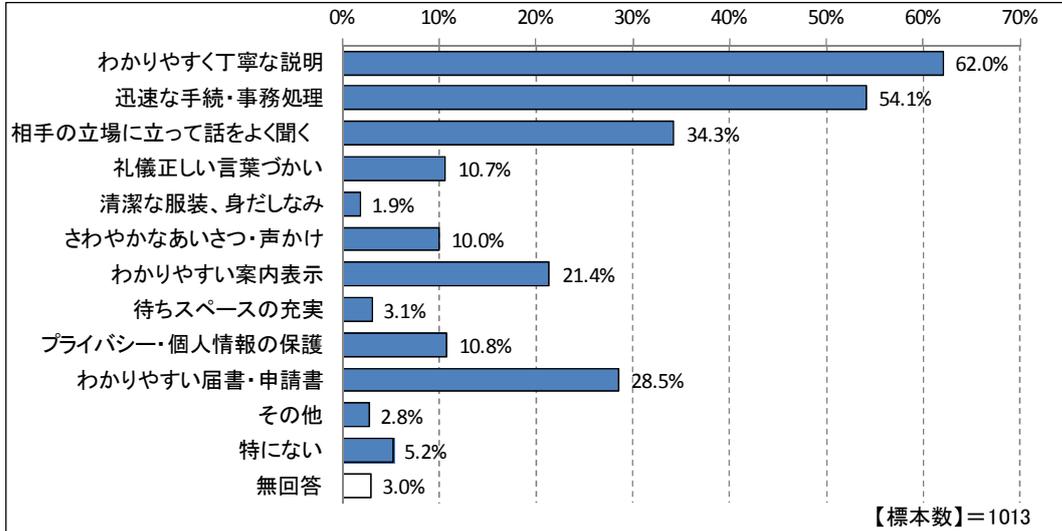
3. 区政への評価と要望について

幸区役所(日吉出張所・道路公園センター・市民館を含む)職員の対応に対する満足度は、「普通」が51.7%と最も高く、次いで、「やや満足」が13.4%、「満足」が13.0%である。また、窓口に期待するものは、「わかりやすく丁寧な説明」が62.0%、「迅速な手続・事務処理」が54.1%、「相手の立場に立って話をよく聞く」が34.3%である。

＜職員への満足度＞

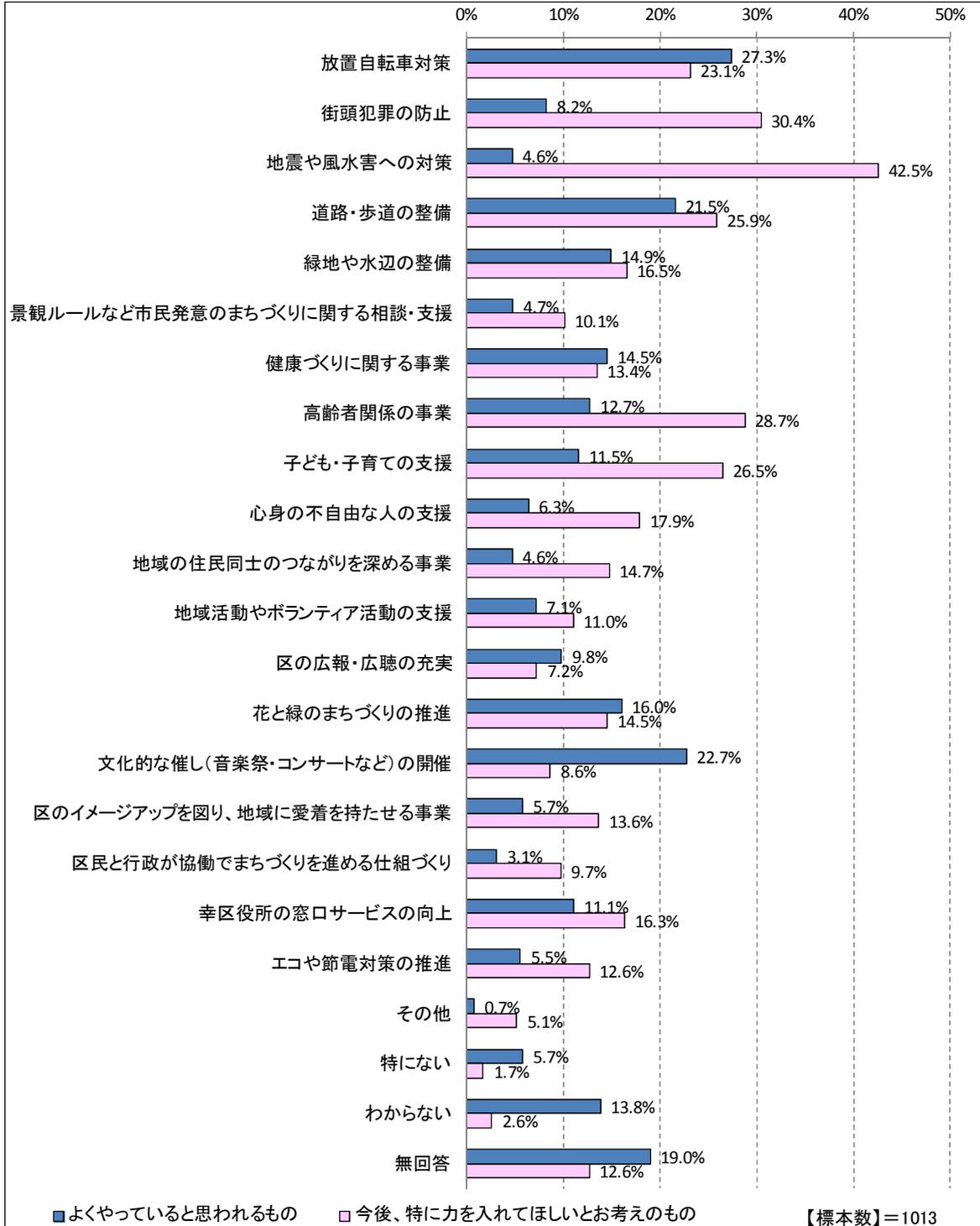


＜窓口に期待するもの＞(複数回答)



区役所の業務に対する評価は、「放置自転車対策」が27.3%と最も高く、次いで、「文化的な催し(音楽祭・コンサートなど)の開催」が22.7%、「道路・歩道の整備」が21.5%である。一方、区役所の業務に対する要望は、「地震や風水害への対策」が42.5%(昨年度は27.8%)と最も高く、東日本大震災の影響による防災意識の高まりが見られた。次いで、「街頭犯罪の防止」が30.4%、「高齢者関係の事業」が28.7%である。

<区役所の業務に対する評価と要望>(複数回答)

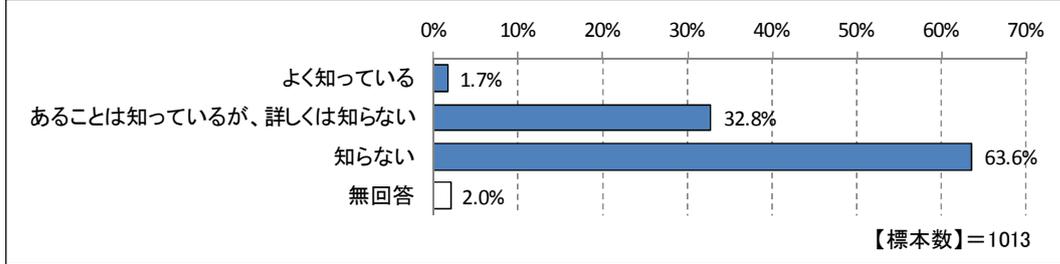


4. 幸区区民会議について

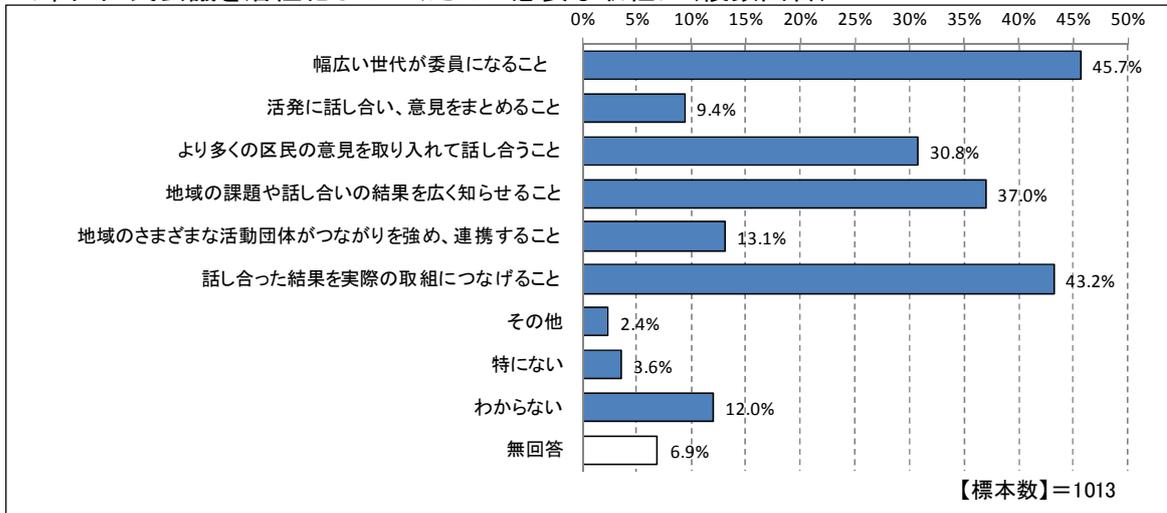
幸区区民会議の認知度は、「知らない」が63.6%と最も高く、次いで、「あることは知っているが、詳しくは知らない」が32.8%、「よく知っている」が1.7%である。

また、幸区区民会議を活性化していくために必要な取組は、「幅広い世代が委員になること」が45.7%と最も高く、次いで、「話し合った結果を実際の取組につなげること」が43.2%、「地域の課題や話し合いの結果を広く知らせること」が37.0%である。

<幸区区民会議の認知度>



<幸区区民会議を活性化していくために必要な取組> (複数回答)

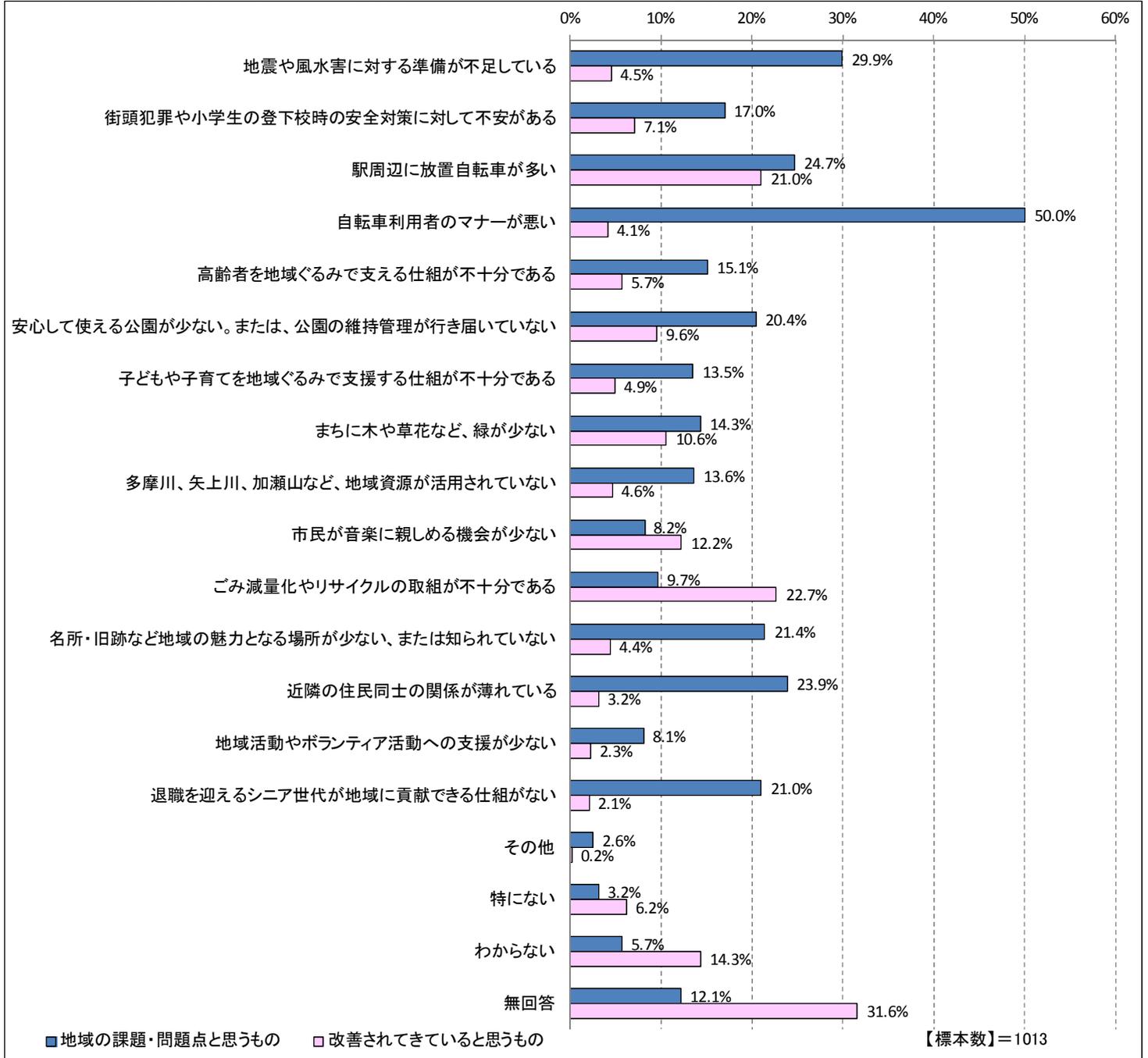


5. 地域活動や課題について

地域の課題・問題点と思うものは、「自転車利用者のマナーが悪い」が50.0%と最も高く、次いで、「地震や風水害に対する準備が不足している」が29.9%、「駅周辺に放置自転車が多い」が24.7%である。

一方、改善されてきていると思うものは、「ごみ減量化やリサイクルの取組が不十分である」が22.7%と最も高く、次いで、「駅周辺に放置自転車が多い」が21.0%、「わからない」が14.3%である。

<地域の課題・問題点と思うものと改善されてきていると思うもの> (複数回答)



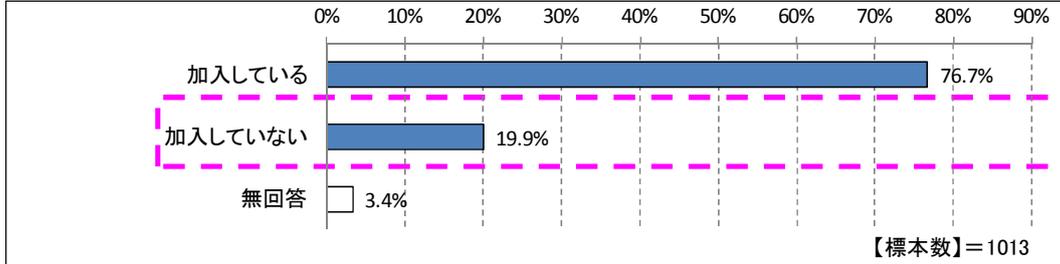
6. 町内会・自治会について

町内会・自治会への加入状況は、「加入している」が76.7%であり、「加入していない」は19.9%である。

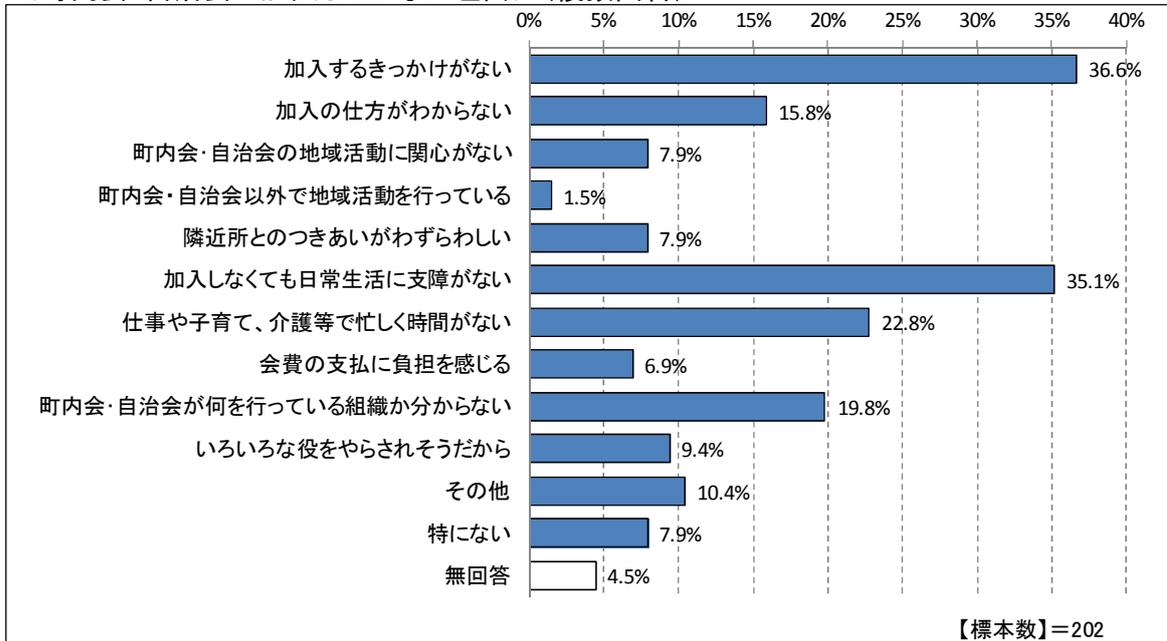
加入していない理由は、「加入するきっかけがない」が36.6%と最も高く、「加入しなくても日常生活に支障がない」が35.1%、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」が22.8%である。

町内会・自治会の活動に期待することは、「地域の人が、気軽に参加しやすい組織・活動にすべき」が43.8%と最も高く、次いで、「町内会・自治会の活動をPRし、活動内容など様々な情報をもっと公開すべき」が33.2%、「今のままでよい」が19.8%である。

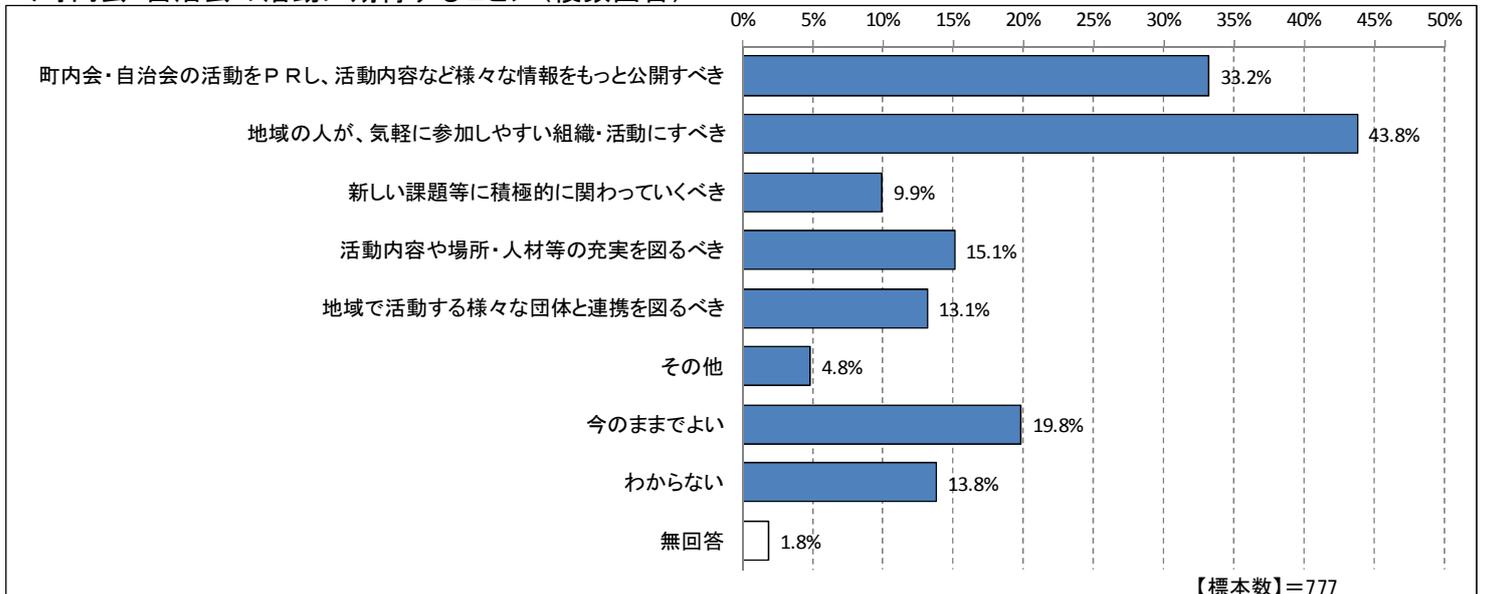
<町内会・自治会への加入状況>



<町内会・自治会に加入していない理由> (複数回答)

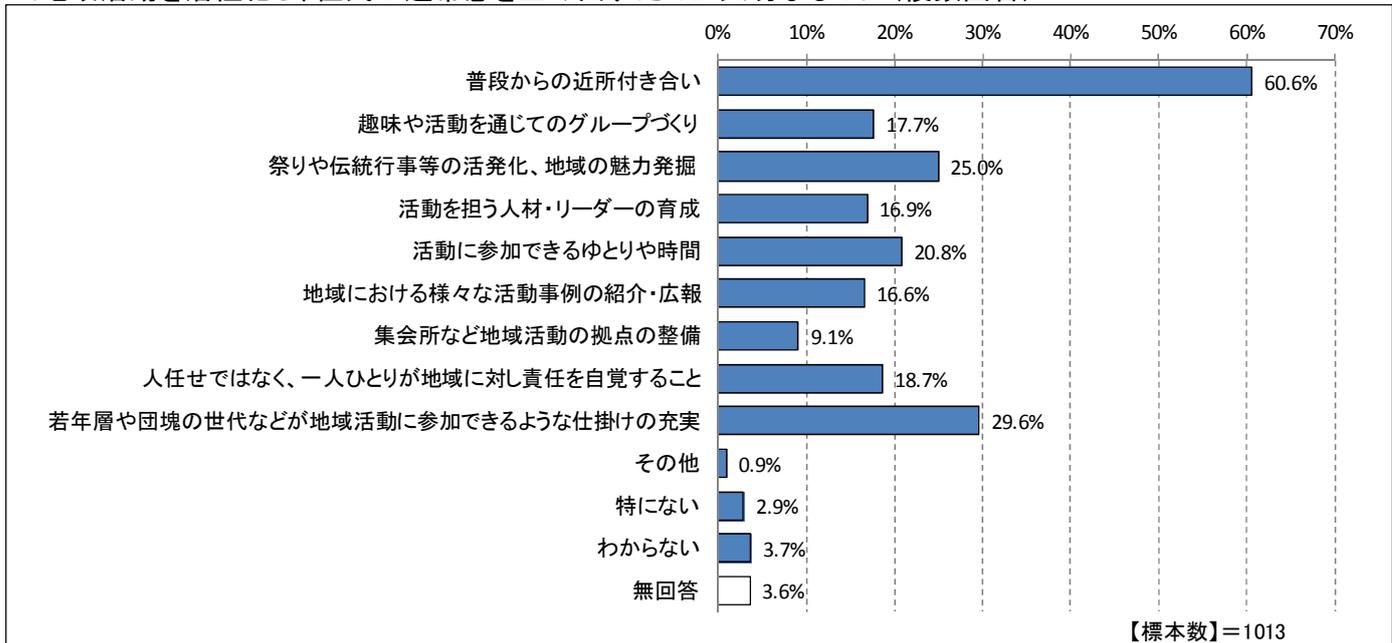


<町内会・自治会の活動に期待すること> (複数回答)



地域活動を活性化し、住民の連帯感を生み出すために大切なものは、「普段からの近所付き合い」が60.6%と最も高く、次いで、「若年層や段階の世代などが地域活動に参加できるような仕掛けの充実」が29.6%、「祭りや伝統行事等の活発化、地域の魅力発掘」が25.0%である。

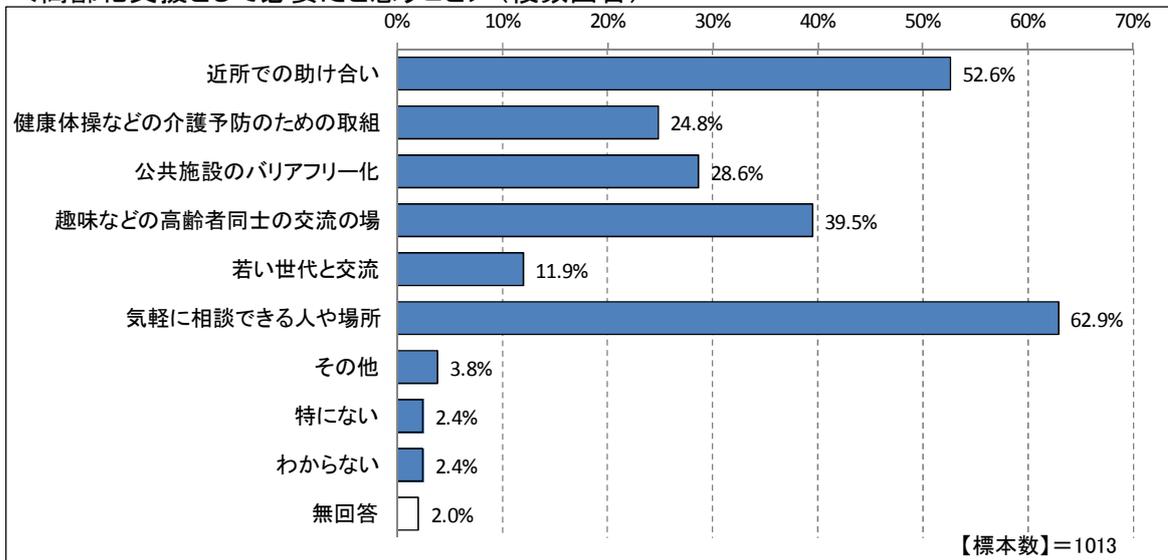
＜地域活動を活性化し、住民の連帯感を生み出すために大切なもの＞（複数回答）



7. 高齢者支援について

現在または将来高齢者となった時に必要だと思うことは、「気軽に相談できる人や場所」が62.9%と最も高く、次いで、「近所での助け合い」が52.6%、「趣味などの高齢者同士の交流の場」が39.5%である。

＜高齢化支援として必要だと思うこと＞（複数回答）

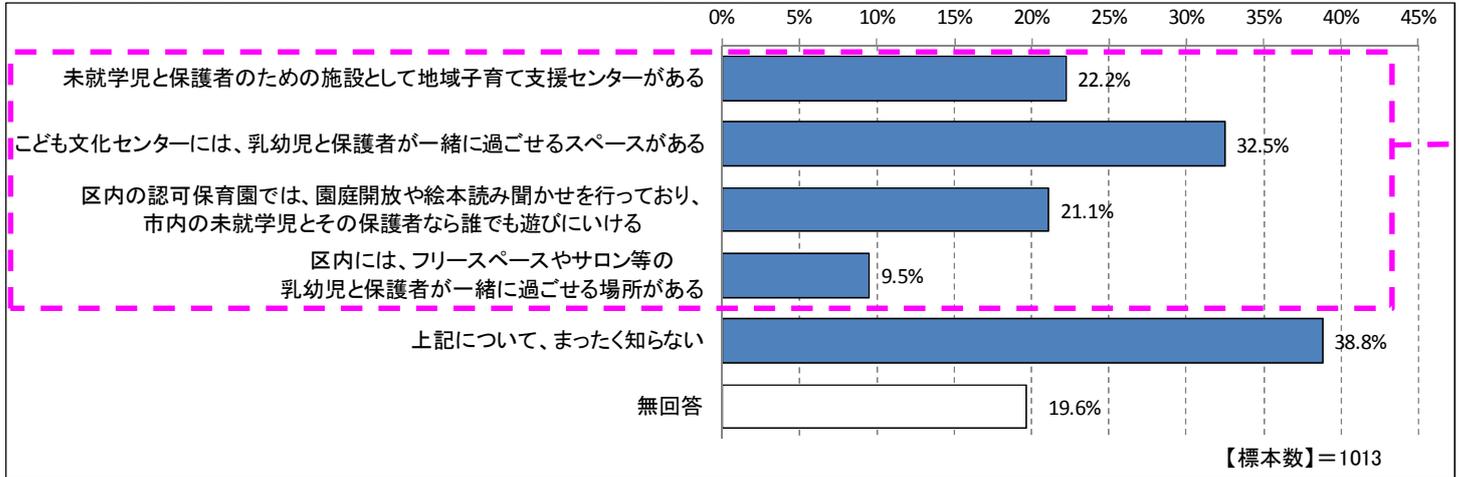


8. 子育て支援について

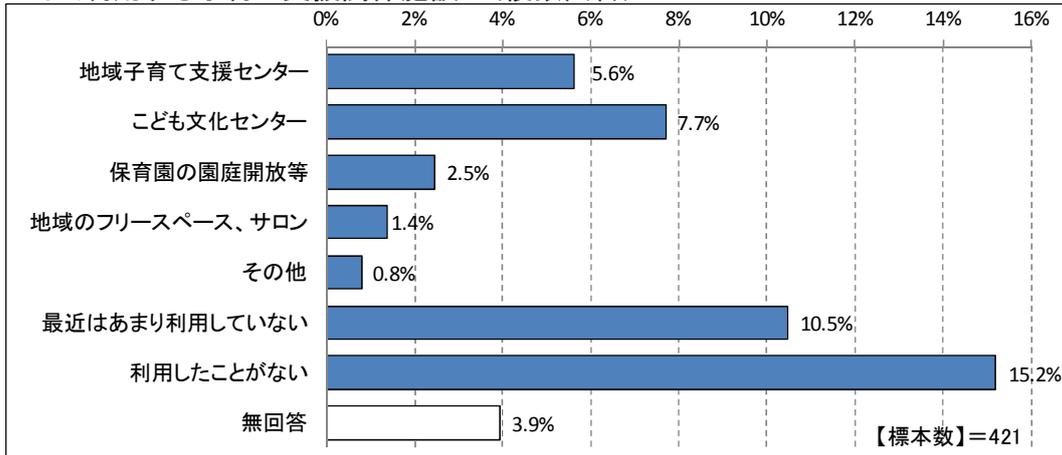
子育て支援関係施設について知っているものは、「上記について、まったく知らない」が38.8%と最も高く、次いで、「こども文化センターには、乳幼児と保護者が一緒に過ごせるスペースがある」が32.5%、「未就学児と保護者のための施設として地域子育て支援センターがある」が22.2%である。

また、普段よく利用する子育て支援関係施設は、「利用したことがない」及び「最近あまり利用していない」を除くと、「こども文化センター」が7.7%と最も高く、次いで、「地域子育て支援センター」が5.6%、「保育園の園庭開放等」が2.5%である。

<子育て支援関係施設について知っているもの> (複数回答)



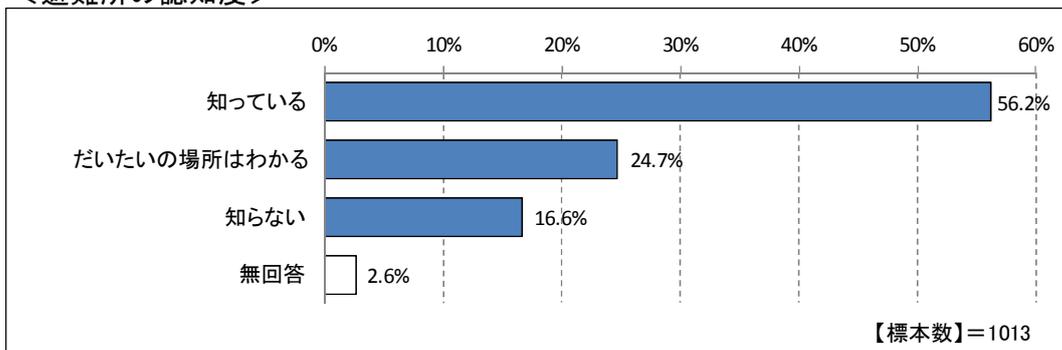
<よく利用する子育て支援関係施設> (複数回答)



9. 防災について

避難所の認知度について、「知っている」が56.2%と最も高く、次いで、「だいたいの場所はわかる」が24.7%、「知らない」が16.6%である。

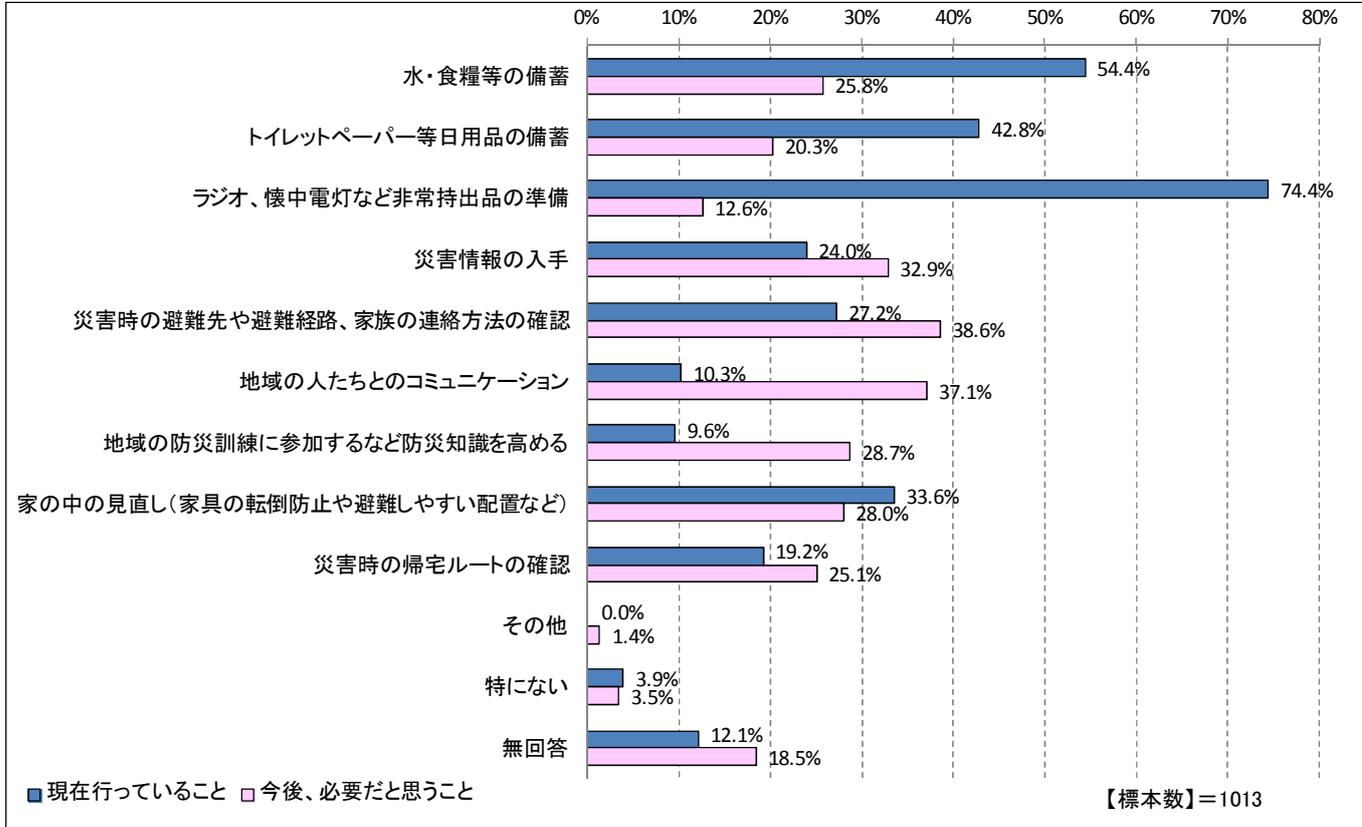
<避難所の認知度>



防災対策として現在行っていることは、「ラジオ、懐中電灯など非常持出品の準備」が74.4%と最も多く、次いで、「水・食糧等の備蓄」が54.4%、「トイレトペーパー等日用品の備蓄」が42.8%である。

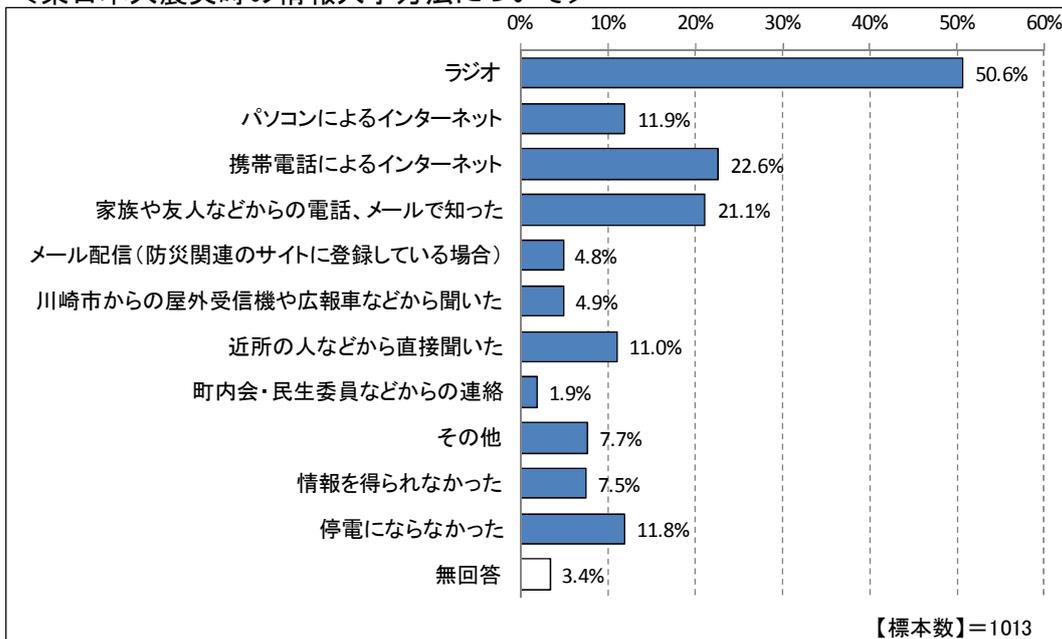
一方、今後必要だと思うことは、「災害時の避難先や避難経路、家族の連絡方法の確認」が38.6%と最も高く、次いで、「地域の人たちとのコミュニケーション」が37.1%、「災害情報の入手」が32.9%である。

<防災対策として行っていることと今後必要だと思うこと>



東日本大震災による停電時の情報入手方法は、「ラジオ」が50.6%と最も高く、次いで、「携帯電話によるインターネット」が22.6%、「家族や友人などからの電話、メールで知った」が21.1%である。

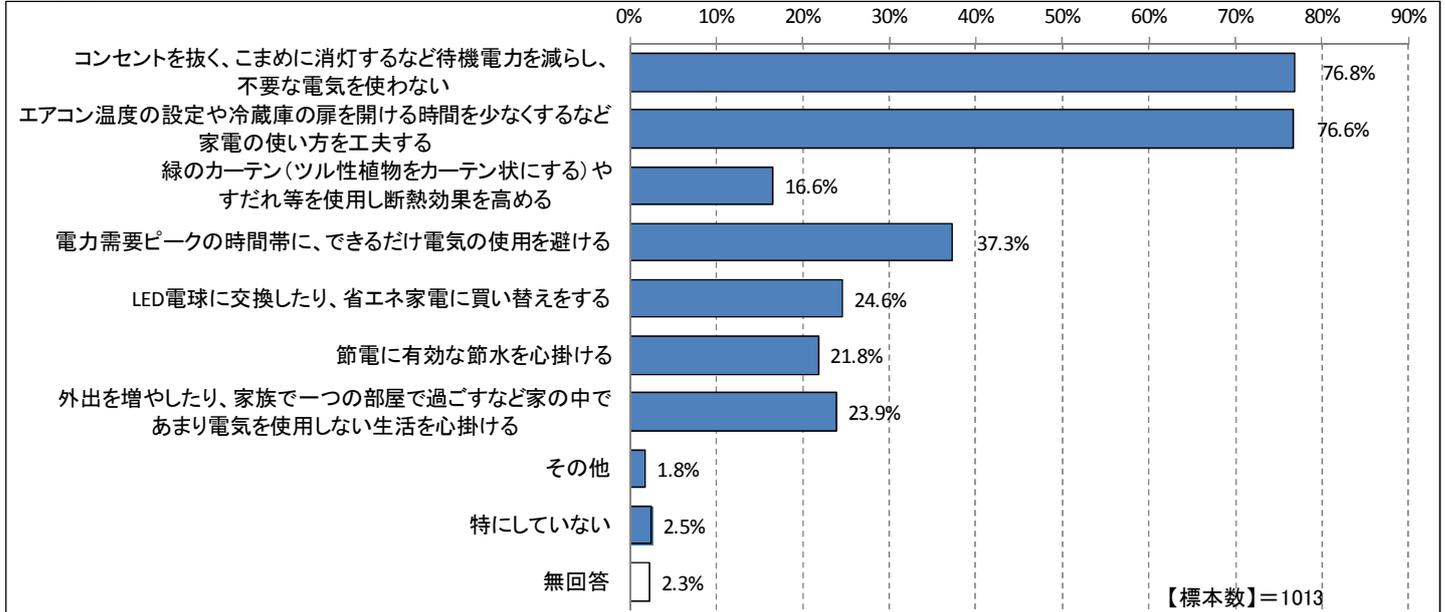
<東日本大震災時の情報入手方法について>



10. 節電とごみの分別について

節電の取組として行っていることは、「コンセントを抜く、こまめに消灯するなど待機電力を減らし、不要な電気を使わない」が76.8%と最も高く、次いで、「エアコン温度の設定や冷蔵庫の扉を開ける時間を少なくするなど家電の使い方を工夫する」が76.6%、「電力需要ピークの時間帯に、できるだけ電気の使用を避ける」が37.3%である。

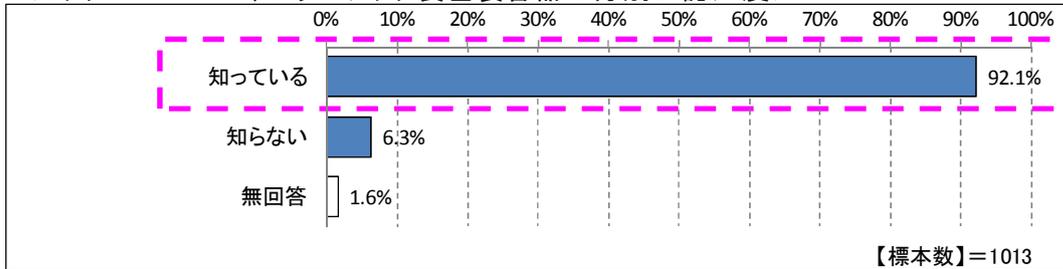
<節電の取組として行っていること>



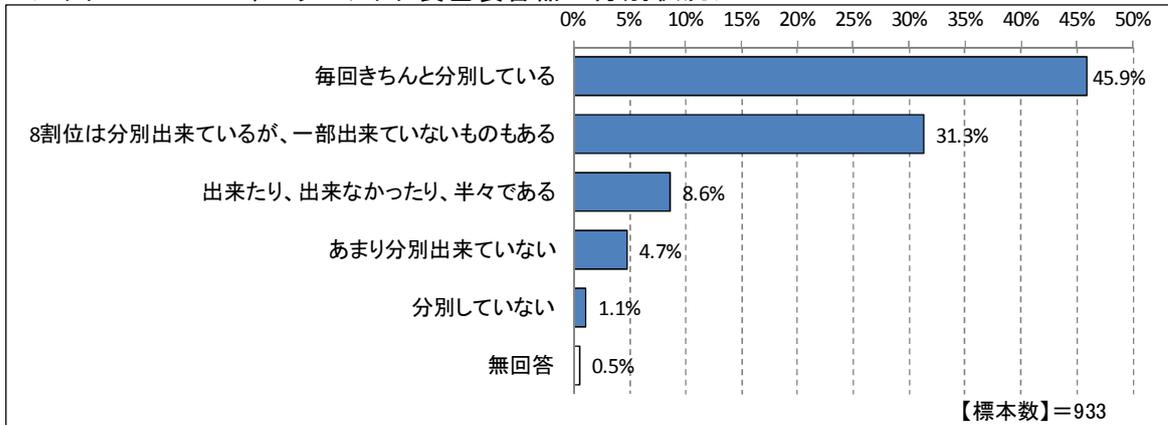
ミックスペーパー及びプラスチック製容器包装の分別の認知度は、「知っている」が92.1%、「知らない」が6.3%である。

また、ミックスペーパー及びプラスチック製容器包装の分別状況は、「毎回きちんと分別している」が45.9%と最も高く、「8割位は分別出来ているが、一部出来ていないものもある」が31.3%、「出来たり、出来なかったり、半々である」が8.6%である。

<ミックスペーパー、プラスチック製包装容器の分別の認知度>



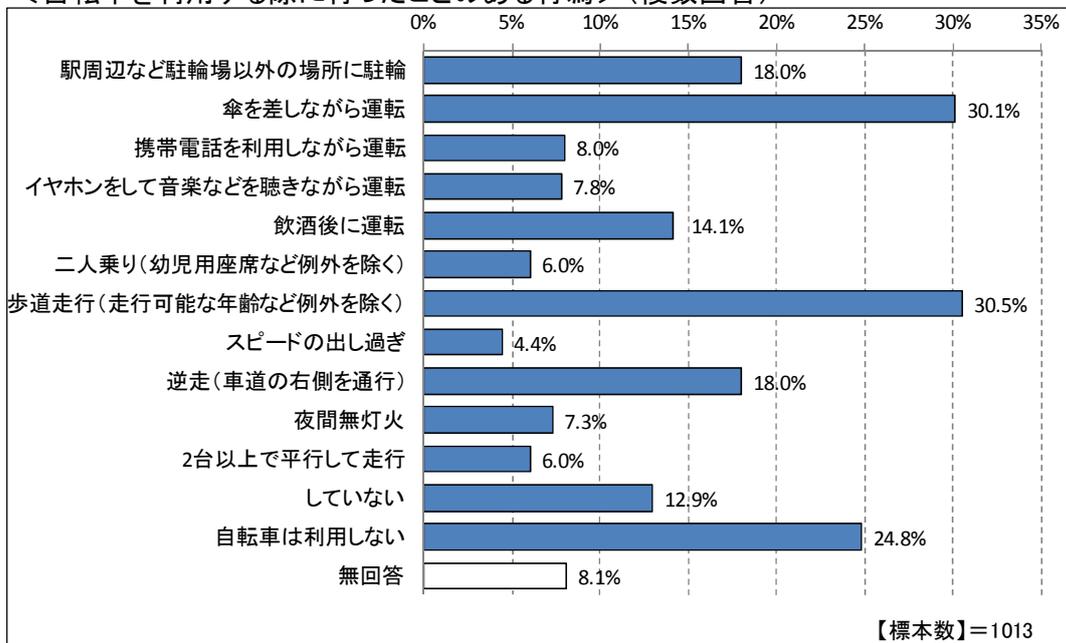
<ミックスペーパー、プラスチック製包装容器の分別状況>



11. 自転車のマナーについて

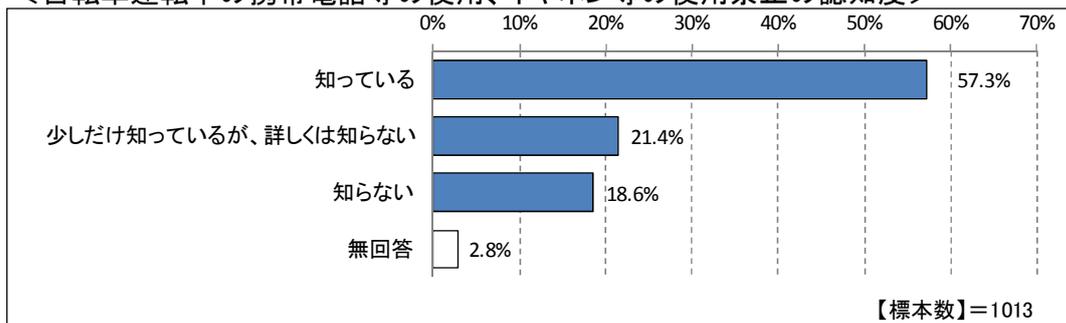
自転車を利用する際に行ったことがある行為は、「自転車は利用しない」を除くと、「歩道走行(走行可能な年齢など例外を除く)」が30.5%と最も高く、次いで、「傘を差しながら運転」が30.1%、「駅周辺など駐輪場以外の場所に駐輪」及び「逆走(車道の右側を通行)」がともに18.0%である。

<自転車を利用する際に行ったことのある行為>(複数回答)



平成23年5月1日から神奈川県道路交通法施行細則の一部が改正され、①自転車運転中の携帯電話等の使用、②自動車等(自転車含む)の運転中にイヤホン等を使用して音楽を聴くなどの行為が禁止されたことに対する認知度は、「知っている」が57.3%と最も高く、次いで、「少しだけ知っているが、詳しくは知らない」が21.4%、「知らない」が18.6%である。

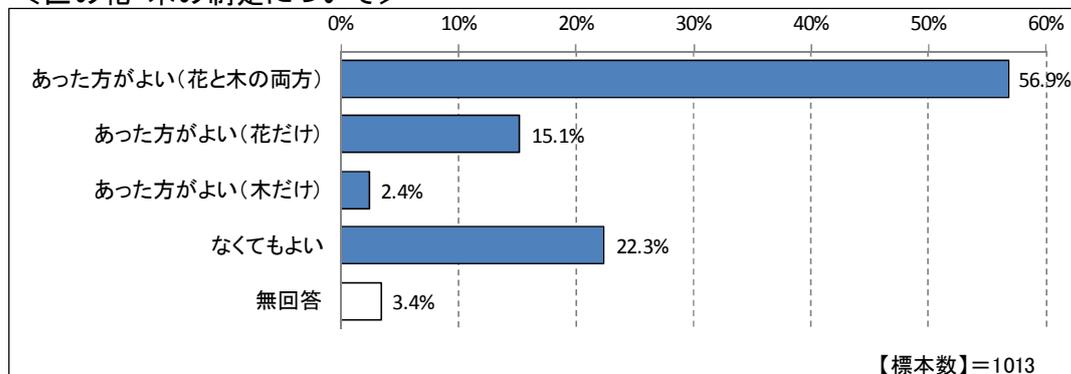
<自転車運転中の携帯電話等の使用、イヤホン等の使用禁止の認知度>



12.区制40周年を迎えることについて

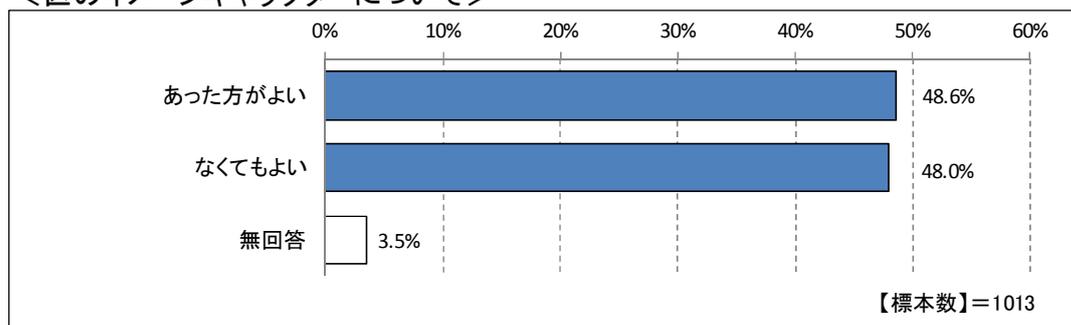
区制40周年を迎えるあたり、幸区の花・木の制定については、「あった方がよい(花と木の両方)」が56.9%と最も高く、次いで、「なくてもよい」が22.3%、「あった方がよい(花だけ)」が15.1%である。

<区の花・木の制定について>



区制40周年を機に、幸区のイメージキャラクターを作成することについては、「あった方がよい」が48.6%、「なくてもよい」が48.0%である。

<区のイメージキャラクターについて>



幸区区民アンケート調査<概要版> 平成24年1月

発行 幸区役所企画課
〒212-8570 川崎市幸区戸手本町1-11-1

TEL : (044) 556 - 6612 (直通)
FAX : (044) 555 - 3130